

\*\*\*\*\*  
**赤潮情報(定期赤潮調査結果)**  
 \*\*\*\*\*

鹿児島県水産技術開発センター  
 平成30年5月28日

鹿児島湾 赤潮情報 No.4

[1]5月25日の調査結果

(1) 赤潮生物の出現状況

有害種であるシャットネラ マリーナが通常検鏡により2ヶ所で各1細胞/mL、濃縮検鏡により1ヶ所で0.001細胞/mL確認されました。

また、セラチウム属が全域で確認され、最高81細胞/mLでした。その他、カレニアバピリオナセアがSt.6の表層で1細胞/mL確認されました。

珪藻類は、湾奥でやや少なく、湾央で少ない状況でした。

(2) 海況

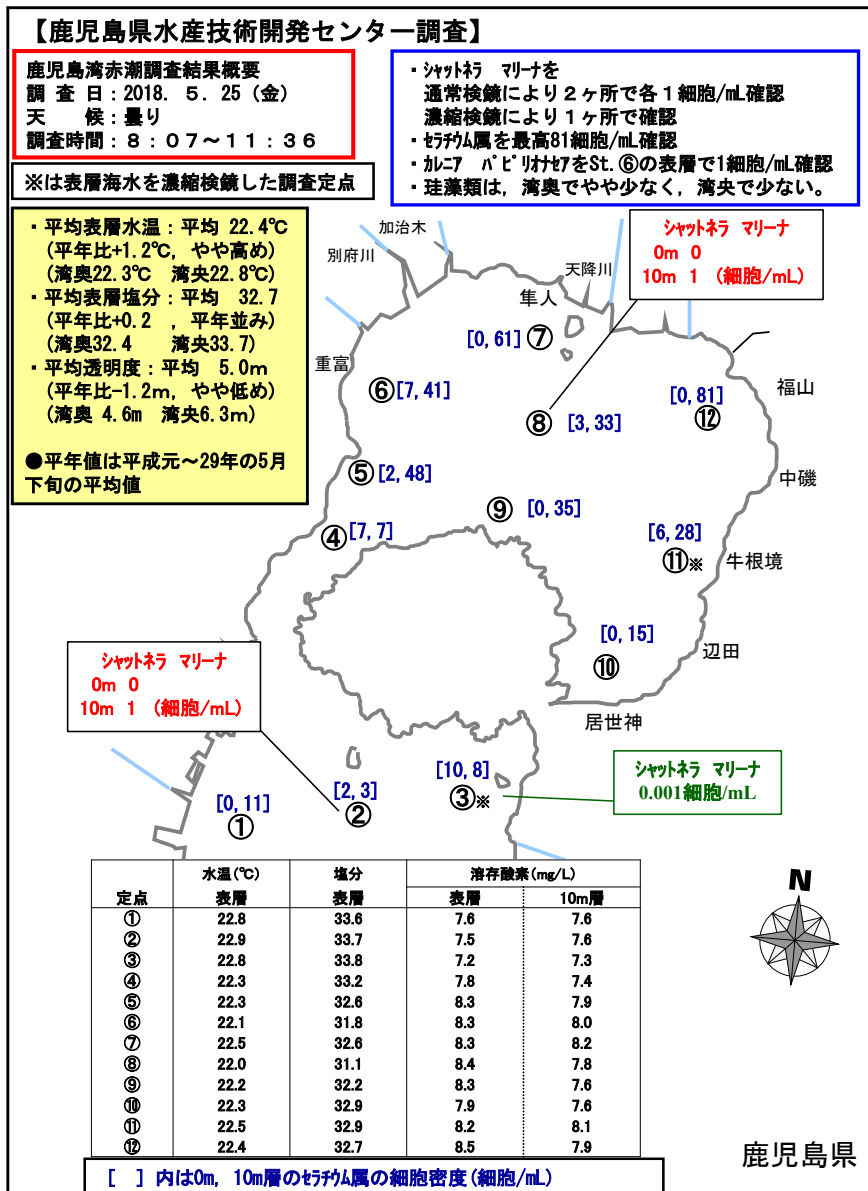
平年値と比べ、表層水温はやや高めで湾奥部で22.0~22.5℃、湾央部で22.8~22.9℃。塩分は平年並みで31.1~33.8、透明度はやや低めで4.0~8.0mとなっています。

水温：平均 22.4℃ 湾奥部 22.3℃ 湾央部 22.8℃

塩分：平均 32.7 湾奥部 32.4 湾央部 33.7

透明度：平均 5.0m 湾奥部 4.6m 湾央部 6.3m

(平年値は平成元年~29年の5月下旬の平均値)



[2] 今後の赤潮発生の予想  
 25日の調査では、競合種である珪藻類が少ない状況であり、今後の環境次第では、シャットネラ マリーナなどの有害種が増殖する可能性があります。

各漁協・養殖業者におかれましては、定期的に検鏡等を継続し、十分な注意をお願いします。

(次回調査は6月上旬を予定)  
 赤潮情報(携帯用)：<http://kagoshima.suigi.jp/akashio/index.shtml>

赤潮情報(パソコン用)：<http://kagoshima.suigi.jp/akashio/newHP/index.html>



鹿児島県